

ごあいさつ

ご案内のように、当社は東レエンジニアリング株式会社の関西における関係会社で、東レ・東レエンジニアリンググループの一員であり、機械・電気・計装のプロフェッショナル技術・技能集団です。生産・物流などの各分野のプラントはもとより、環境、社会インフラなどの各種プロジェクトにも取り組んでおります。そして、IT関連分野など新たな分野へも拡大の速度を緩めることなく、東レグループにおいて培ってきた技術・技能を更に高め、柔軟な発想と技術力で、お客様ニーズに即した提案型ビジネスを展開しております。

当社の従業員の大半は、東レ滋賀事業場内に職場を置いていることから、環境保全・改善活動についても東レ滋賀事業場の進める活動に同一步調で取り組みを行っています。

ここに示した種々のデータは、東レ滋賀に報告しているそのものです。我々関西ティーイーケイ株式会社は東レグループの一員として大津市と結んだ環境保全協定の実施に向け、今後ともたゆまぬ努力を続けることをお約束致します。

関西ティーイーケイ株式会社
社長

環境方針

【環境理念】

安全・防災・環境保全・衛生・健康・倫理を事業活動の最優先課題として、社会と社員の安全と健康および資源を守り地球環境保全に努めます。

【環境保全方針】

1. 大津市環境基本計画に基づき、共生、循環、健康、快適、協働の基本目標を達成すべく、環境保全活動方針・計画を明確にし、環境の維持・保全に努めます。
2. 環境関連の法規制を遵守し、自主的に保全・改善活動に取り組みます。
3. 水質汚濁物質の流出防止および大気汚染物質の排出防止を徹底します。
4. 廃棄物の削減、リサイクル化の促進、省エネルギーへの取り組み等環境負荷の低減に努力します。
5. 臭気・振動・騒音等を防止し、地域環境を守ります。
6. 上記項目の実現のため、環境目的および目標を設定し、かつ、全従業員が事業者・市民としての責任と役割を自覚し、共通の目標を達成するために継続的な活動を推進いたします。

2001年2月26日制定

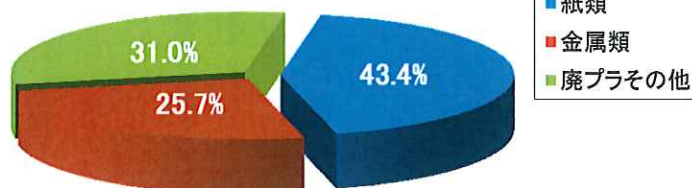
会社概要

社 名：関西ティーイーケイ株式会社
 設 立：1973年9月6日
 資本金：80百万円
 本 社：〒520-0832
 滋賀県大津市栗津町1番24号
 TEL 077-534-0956
 FAX 077-534-4693
 株 主：東レエンジニアリング株式会社
 東洋電機株式会社
 代表者：代表取締役社長 尾藤 武
 許可業種：
 特定建設業 特-27第18627号
 機械器具設置工事業・管工事業・
 電気工事業
 一般建設業 般-27第18627号
 消防施設工事業

事業内容

保全事業：機械・電気・計測設備の維持、保全
 設備の点検診断業務
 機器事業：制御盤設計製作
 産業機械、繊維機械、工作機械制御盤
 液晶、食品、自動車関連制御盤
 ケミカル・医療・環境・エネルギー制御盤
 制御盤、PLCなどの老朽化更新
 エンジニアリング事業
 ：各種ケミカルプラント（化成品、化粧品、
 洗剤、医薬中間体 他）、水処理プラント
 （排水再利用、海水淡水化、有価物回収他）
 IT関連プラント（印刷材料、純水装置、部
 品組立てライン 他）、環境・エネルギー
 プラント（防音、防臭、排水処理、自家発電、
 太陽光発電 他）

廃棄物の内訳



2017年度も全社的に3R運動

- ・ Reduce : 削減
- ・ Reuse : 再利用
- ・ Recycle : 再資源

の推進を掲げ、積極的に活動を展開し、廃棄物の排出量削減と再資源化に努力していく。

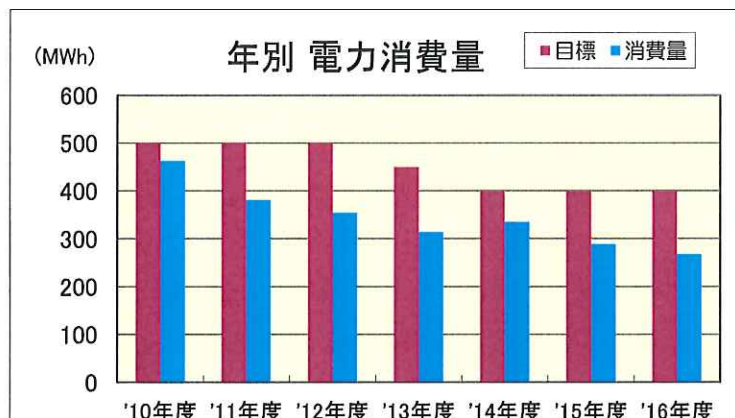
2016年度 紙リサイクル率: 96.6%

紙類の廃棄実績は12.2tで、目標値の13.0t以下を目指し活動を展開。不要な印刷を控え、裏紙の再利用や焼却としていた紙を再資源に利用することでリサイクル率UPに繋がった。2017年度も引き続き再利用・再資源化に努力する。

2. 省エネルギーの推進

地球温暖化防止の観点から燃料消費を削減し、省エネ活動を展開した。また、2014年9月から本社の屋上に太陽光パネル（発電出力 10kw）を設置し、自然エネルギーの利用を進め、2016年度は11,421Kwhの発電量になった。

1) 電力消費量

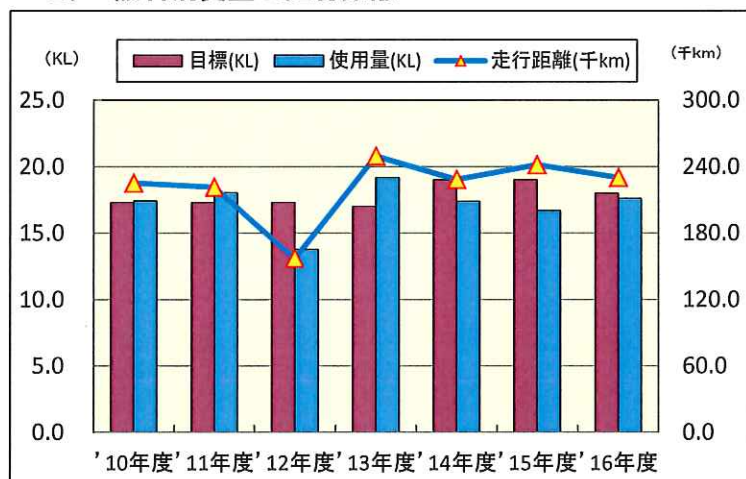


目標達成のために

- 冷暖房の温度管理強化
- 不用時のS/W OFF化の再徹底と実施
- 時間外業務の削減（早帰りデー設定）
- 「滋賀アイドリングストップ宣言」の実施
- 公共交通機関の利用促進
- 経済速度での運行

当社は省エネ法（重油換算:1,500KL以上）の対象外ではあるが、平素から不用時の電源OFF化や昼休み時間の消灯、空調の温度管理・時間外業務の削減等、管理強化を図り、社員一人ひとりが意識して行動することで節電に努めている。電力消費量は2010年度463MWhをピークに減少傾向です。2016年度は、業務量の増加はあるにも拘らず、目標400MWh以下に対して267.8MWhと目標を達成した。2017年度も全社でクールビズ、ウォームビズを励行し冷暖房の温度管理を強化し、照明のLED化等の省エネルギー活動を推進し、電力消費量削減に努めていく。

2) 燃料消費量と走行距離



2016年度は、年度初から受注拡大に向け営業活動を積極的に進める中、社用車の利用や台数も増え、活動が活発になってきたが、前年実績を超えないように目標（18.0KL）と定め、省エネ走行や近距離は、公共交通機関を利用する運動等を展開し社用車を使用する社員一人ひとりが省エネを考え、エコドライブに努める等積極的に取組んだ。

その結果、目標18.0KLに対して17.6KLとなり、目標を達成した。2017年度も前年度実績以下で推移するように利用者に再度PRし努力していく。

3. 環境苦情件数の削減

1) 環境に関する苦情件数のゼロ化

重大トラブル 0件
軽度トラブル 0件

と目標は達成できた。引き続き苦情件数“0”を目標に努力する。

2) 工場周辺の美化推進 建屋周りの除草およびゴミ拾い。

目標達成のために

- 教育訓練による意識アップ
- 建屋排水の排水経路確認
- 環境負荷に対するリスクPR（整備不良による油漏れ等）